

こんな活動をしています

## 日政連 かながわ

全日本不動産政治連盟 神奈川県本部

〒220-0004  
横浜市西区北幸1-11-15  
横浜STビル6F  
TEL. 045-324-2001  
FAX. 045-324-2006発行人：佐々木 富見夫  
編集人：片山 好正<http://www.nisseiren-kanagawa.info/>

No.9

自由民主党・公明党との予算要望  
ヒアリング及び意見交換実施

令和6年7月12日に各ブロックより土地・住宅政策等に関する要望事項を実現するため、神奈川県庁新庁舎8階第1会議室にて自由民主党神奈川県支部連合会が主催する予算要望ヒアリングに出席し意見交換を行いました。

県本部からは佐々木本部長をはじめ役員15名が出席し、加藤元弥県議会議員をはじめとする自由民主党神奈川県支部連合会の役員に対して以下の要望事項を陳情しました。

〈国への要望事項〉

① 通学路の安全確保策（国土交通省）

② 登記情報提供サービスの利用時間について（法務省）

③ 省エネ基準義務化の補助金の件（国土交通省）

〈県への要望事項〉

① 宅建士資格登録事務等委託の見直しについて（県土整備局）

② 宅地建物相談窓口増設及び相談員派遣委託費について（県土整備局）

これらの要望事項について、令和6年9月11日及び12月2日に自由民主党神奈川県支部連合会より回答があり、結果としていずれの要望事項も叶えられておりませんが、これらの陳情案

件は速やかな解決が困難な事案でもあり、今後も根気よく、全日本不動産政治連盟総本部と連携し、要望活動を継続して参ります。

また、これらの要望事項は、令和6年7月24日公明党神奈川県議会議員団との予算要望ヒアリングへも陳情し、県本部からは佐々木本部長をはじめ役員13名が出席し、公明党から出席の神奈川県本部代表である三浦信祐参議院議員をはじめとする公明党神奈川県議会所属議員との間で意見交換を行いました。

## 全日神奈川政策研究会の活動

令和6年11月7日にロイヤルホールヨコハマにて、自由民主党神奈川県議会議員顧問との間で、「令和6年度 第1回全日神奈川政策研究会」を開催しました。

当日は佐々木本部長をはじめ役員18名が出席し、自由民主党神奈川県議会議員からは前県議会議員長の加藤元弥議員をはじめ、数田博昭議員、桐生秀昭議員、市川和広議員、内田美保子議員、武田翔議員、田中洋次郎議員、田中信次議員、谷和雄議員、高橋延幸議員、牧島功相談役の総勢11名にご参加いただき、以下の研究テーマについて、意見交換を行いました。

① 省エネ基準義務化の補助金について

・ 現行の補助金に対する不満が多く、予算の増額と施策の拡充が必要なことについて

・ 省エネ基準改正に伴うコスト増加に対応するための補助金の増額について

② 宅地建物相談窓口増設について

・ 一般消費者にとって宅地建物に関する相談は非常に重要な問題であり、特に高齢者や障害者等社会的弱者への配慮について

・ 新たな相談窓口の増設が難しい場合でも、既存の施設や窓口を最大限に活用し、地域に密着したサービスを提供する方法について

・ 県民への周知を強化し、相談窓口の利用を促進するための広報活動の県との協力について

研究会終了後には懇親会が開催され、交流を図ることができました。本研究会は、今後も活発な意見交換を行い、陳情並びに要望の具現化に向けて活動して参ります。



## 全日政連の必要性

全日本不動産政治連盟（日政連）は、昭和53年11月2日、元建設大臣・野田卯一会長の下、消費者の市場選択の自由、中小不動産業者の権益を擁護するため、その持てる政治力を十分に発揮し、力強く前進すると

の「宣言」を採択し公益社団法人全日本不動産協会を母体とし創設されました。

当時は、長く低迷する経済不況と規制過重の土地政策によって、不動産業界は深刻な事態に直面しており、総力をあげて打開し、国民の生活基盤の安定と向上、業界の健全な発展を期して活動を開始いたしました。

また、全日本不動産政治連盟神奈川県本部は、宅地建物取引業者の政治意識の高揚を図るため、昭和57年6月に結成され、不動産業者の権益擁護を目的とし、さらに消費者の市場選択の自由や不動産業界の社会的地位向上を図るため、公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部を母体として設立いたしました。国政ま

たは県政・地方自治体および関係各議員に対して陳情・請願等を積極的に行い、その持てる政治力を如何なく発揮し、会員皆様の切実な要望を粘り強く実現に向けて活動して参りました。

全日本不動産政治連盟神奈川県本部は、公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部及び全日本不動産政治連盟（日政連）と密接な連携を図り、その目的を達成するために次の活動を展開しております。

1. 公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部より委嘱された事業を行う。

2. 国政及び地方行政に対する陳情、請願、並びに選挙における支援活動を行う。

3. 政治、経済に関する調査、研究並びに情報の収集活動を行う。

4. 日政連活動へ協力する。

5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業を行う。

上記の活動の具現化のために、次の活動を行っております。

(1) 予算要望ヒアリング

毎年、国及び県に対しての要望を県本部全会員に対し各ブロックを通じ収集し政務委員会に於いて精査し政権与党の県議会議員とヒアリングを行っております。

(2) ブロックの政治活動への支援

横浜、川崎、湘南、さがみ各ブロックには（裏面に続く）

## 地域政経懇談会・懇親会

政治資金規正法等の関係で活動費の予算を付けておりませんが、各ブロックの政治活動は県本部主催のもと、活発に実施しております。

県内の不動産業の成長、発展、活性化を促進し、県民生活の向上を目指します。

前述の予算要望ヒアリングだけでは政策要望の実現化は弱いと感じ、牧島功元県議会議員にご尽力いただき自由民主党神奈川県議会議員を顧問に迎え、県内外の不動産市場の動向、土地・住宅に関する条例・税制や経済情勢等に関する、県本部執行部との議論の場を設け、陳情並びに要望の具現化を図って参りました。

結びに、会員の皆様には日頃のご協力に感謝申し上げます。今後ともご期待に応えられるよう活動して参ります。何卒、日政連の必要性、活動をご理解いただき、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全日本不動産政治連盟  
神奈川県本部

幹事長 山崎一守

## 1 横浜ブロック

令和7年2月21日(金)、令和6年度地域政経懇談会及び懇親会をロイヤルホールヨコハマにて開催いたしました。地域政経懇談会第1部前半では、『神奈川県の経済状況について』と題し、株式会社神奈川銀行代表取締役頭取の近藤和明氏にご講演いただき、後半には、『2027年国際園芸博覧会について』と題し、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長の小池正則氏をお招きし、多くの会員の皆様にもご参加いただきました。途中、横浜ブロック顧問議員の先生方のご紹介や横浜市事業に関する質疑応答の時間を設け、活発な意見交換のもと、実りある時間を過ごすことができました。



引き続き行われた懇親会では、横浜ブロック顧問議員の先生方、政経懇談会にご登壇いただいた株式会社神奈川銀行 代表取締役頭取の近藤和明氏、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長の小池正則氏をお招きし、多くの会員の皆様にもご参加いただきました。途中、横浜ブロック顧問議員の先生方のご紹介や横浜市事業に関する質疑応答の時間を設け、活発な意見交換が行われました。

## 2 湘南ブロック

湘南ブロックは、東は藤沢鎌倉から西は小田原、湯河原、箱根までの広範囲であるため、本年度は3回の地域政経懇談会を開催いたしました。

・令和7年1月23日(木) 茅ヶ崎にて 茅ヶ崎市長 佐藤光氏  
・令和7年2月20日(木) 藤沢にて 神奈川県議会議員 市川和弘氏  
・令和7年3月11日(火) 大磯にて 神奈川県議会議員 谷和雄氏



佐藤茅ヶ崎市長

各回ともにその地域の現状をご講話いただき、そのあと会員からは様々な意見要望等が出され、活発な意見交換が行われました。

参加された会員の皆様も政治連盟の趣旨、活動について改めてご理解いただけたと思います。



懇親会の様子(藤沢)



懇親会の様子(大磯)



懇親会の様子



政経懇談会の様子

## 3 川崎ブロック

令和7年2月14日(金) 全日本不動産政治連盟(日政連) 神奈川県本部川崎ブロック主催の地域政経懇談会をホテル精養軒にて開催いたしました。

・第1部 政経懇談会  
川崎市議会議員団の先生方をお招きして「市政報告及び不動産に関する懸案事項」についてお話をいただきました。

日政連神奈川県本部 山崎一守幹事長の挨拶から始まった政経懇談会は、会員の皆様より寄せられた質問、要望事項に、市議会議員団の先生方から丁寧にお答えいただき時間が足りないくらい白熱した懇談会となりました。また、御参加いただいた会員の皆様には日政連の趣旨、活動成果にも改めてご理解いただいた様子でした。

・第2部 懇親会  
政経懇談会終了後は同ホテル内の飛翔の間に移動して懇親会を開催いたしました。

日政連神奈川県本部 佐々木富見夫本部長の挨拶



## 4 さがみブロック

ザウイングス海老名にて全日本不動産政治連盟(日政連) 神奈川県本部さがみブロックの政経懇談会が開催されました。講演会では三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 藤田隼平氏より「日本経済の現状と見通し住宅市場を取り巻くマクロ環境」を講演いただき、コロナ禍以降の物価上昇と円安等の名目と実質でのデータをわかりやすく説明いただき、それを踏まえた住宅市場の傾向と今後の見通しを予測できる講演内容でした。外国人の国内不動産取引の増加や今後の住宅ローン金利動向等、会員の皆様の理解が深められた貴重な講演で

した。その後、講師を含めた会員の皆様と交流を行い、有意義な懇談会となりました。



藤田隼平氏



政経懇談会の様子

ブロック毎に活発な活動ができました。本年度の特筆すべき点は当本部が長く要望していた「宅地建物取引業免許事務等処理システム」(宅建システム)が神奈川県より推薦を受け導入できたことではないかと思えます。

これも当本部が一丸となつて宅建士資格登録等事務業務の見直しについて神奈川県へ要望し、取り組んできた事、更には全日神奈川政策研究会を通じて神奈川県議会議員の

## 編集後記

全日神奈川政策研究会の創設にご尽力くださいました元神奈川県議会議員の牧島功様が2月27日に80歳でご逝去されました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 計報



政経懇談会の様子



懇親会の様子

に続き同じく神奈川県本部 米田恵子政務委員長の挨拶、来賓の挨拶を自由民主党川崎市議会議員団の橋本勝氏、乾杯の音頭を小林達夫副ブロック長にいただいた。き、和やかな雰囲気での懇親会が始まりました。

途中、川崎市議会議員団の先生方から第1部に続き川崎市政についてお話しいただき、テーブルごとに、地区での問題、陳情等も繰り広げられていました。